

いま～現実をみつめ、あす～未来を紡ごう～ 「生きる力」を育む「学び」の創造

府立
人研

2018年度
第38回
府立人研 研究集会

府立人研だより

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2018年12月11日 第15号発行

日時:2019年1月25日(金)
10:00～17:00(受付 9:30)

場所:府立市岡高等学校

アクセス:

JR環状線・大阪メトロ中央線
「弁天町」駅(東口から)東南東へ約400m

資料代は¥1,000です。
大人教南河内大会へ参加された方は、
参加券の提示で
資料代に代えさせていただきます。

★お願い **名札とスリッパ**をご持参ください。



別紙【申込用紙】にて、希望の分科会を記入していただき、MAIL または 通送便、FAXにてお申し込みください。
お気をつけてお越しください。お待ちしております。

午前 **全体会** 10:00～12:15 場所:市岡高校 5F 視聴覚教室

これからの同和教育・人権教育を培う未来を切り開く“力”

～仲間とつながる市民性教育～

講師:若槻 健 さん (関西大学 文学部 総合人文学科教育文化専修 教授)

府立人研創立51年めにあたり、改めて「差別の現実から深く学ぶ」ことを検証軸として、研究・交流活動をおこなっていくことを今年度の府立人研の方針として策定しました。そこで、子どもたちの未来を切り開く“力”を「同和教育・人権教育」との関連で講演していただき、その中で、集団づくり・仲間づくりの意義、生活や学力に課題のある子どもを中心に据える教育実践の意義、子ども中心に据える教育実践の意義、子どもの背景にある社会課題や人権課題を見ずえることの意義などを、改めて考えていく全体会とします。そしてその先に「市民として社会を担い、社会をよくしていく力」の育成という市民性教育のあり様を展望します。



午後 **分科会** 14:00～17:00 場所:市岡高校

第1分科会

生徒が社会とつながる授業
～松高版「子ども食堂」の取り組み～

報告：府立松原高等学校

第1分科会では、まず「生徒が社会とつながる授業」をテーマに報告と交流を行います。松原高校の「産業社会と人間」では、グループで社会の課題に取り組み、1年の最後には提案型の発表を行っています。この授業をきっかけに貧困や生活保護への自己責任論を知った当事者の生徒が自分の生い立ちを仲間に語る中で、その問題と真正面から向き合い、自ら「つながりを生む居場所」を提案し、「松高きっちゃん」という形で具現化していきました。支援をされる客体から支援をする主体へと変容していく生徒達の様子を報告していただきます。

その後、グループに分かれ、私達が日々行っている授業では生徒達に何を伝えられているのか、何を伝えたいのか、「生徒が社会とつながる授業」について意見交流を行いたいと思います。



第2分科会

発達障がいの子どもの
「できる」を増やす
提案・交渉型アプローチ

～叱らないけど譲らない支援～

講演：武田 鉄郎 さん
(和歌山大学 教育学部 教授)

発達障がいの子どもの主人公のアニメを視聴し、どんな支援をしていくのかを考えるワークを参加者とともにおこない、それについて講師の武田さんから助言をいただきます。その後、以下の内容で講演いただきます。

『発達障がいの子どもの指導・支援する方法として、問題に直面した子どもに対し、“叱らないけど譲らない”状態で、支援者が解決に向けたいくつかの方法を「提案」し、「交渉」を重ね、子どもが自主的・主体的に解決法を「選択」できるようにすることを提案・交渉型アプローチと呼んでいます。同アプローチは、自尊感情を低下させ、情緒的に不安定になったり、問題行動を起こしたりする二次障がいのある子どもに特に有効で、その予防にも役立つといえます。また、提案・交渉型アプローチは、発達障がいのある子どもだけでなく、全ての子どもたちに有効なアプローチです。』

第3分科会

福祉と教育、生徒支援の
ネットワーク

～プラットホームとしての学校～

報告：堺市 CW(ケースワーカー)のみなさん
水流添 綾 さん
府立人研教材・資料開発プロジェクト
「定通教育」チーム

生活保護のCW(ケースワーカー)と教職員が同じテーブルで、お互いの専門を活かして知恵を出し合ったなら、見過ごされていた「子どもの貧困」の問題にもっと違ったアプローチができるのではないのでしょうか？ DVD『仁の物語』を事例としてその支援を考えます。生活保護受給世帯の生徒への支援は、福祉と教育どちらかだけでは解決できない問題です。協働することで、学校の役割や課題、行政等の外部との連携を具体的に実感できたと思います。

グループワークでは、各班に堺市のCWの方たちに入っただき、教職員とともに支援のネットワークを探ります。また、全体のアドバイザーとして、SSW(スクールソーシャルワーカー)の水流添綾(つるぞえあや)さんに福祉と教育をつなぐ「つなぎ人」として、支援のあり方とそこにつないでいくために必要なことは何かを解説していただきます。

便利です“活案”メール！！

府立人研では、“活動案内メール”を配信しています。たより(行事の案内)や通信(活動報告)の発行をお知らせします。みなさんのEメールアドレスを、この機会にぜひご登録ください。



件名に「活動案内メール希望」、本文に「学校名・名前」を記入して、右記アドレスまで送信してください。

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号

(府立柴島高等学校内)

※送付には「府立人研」とお書きください。

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通)

E-mail furitsujinken@nifty.com

URL <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。